



ふるさと 水戸



「あい」のある学校・地域 つながれ水戸っ子

令和8年度は水戸小学校 創立50周年。今年度、水戸小学校では、「やりたい、考えたい、深めたい」を追求し、「一人ひとりが大切にされるとは」をみんなが考え続ける学校を目指します。

50周年に向けて!

6月30日、50周年記念の

水戸っ子リーダーが考えた図案。団の色で表現!



航空写真の撮影をしました。水戸っ子リーダー委員会に考えてもらった図案をもと

にみんなで協力して撮影! 参加して下さった保護者のみなさま、急な予定変更でご迷惑をおかけしまし

が、ご協力ありがとうございました!

ラチーノ学院との交流

ラチーノ学院のみんな
と「福笑い」をしたよ!



6月18日、4年生がラチーノ学院との交流会をしました。楽しく遊んで交流した

り、お互いの学校のことを紹介したりしました。「楽しくなる気持ちは同じ」と実感。で



も、違いもいろいろ見つけました。これから、「ふるさ

幼稚園から高等部まで一つの建物
にいるの?! 朝ごはんも食べるの?!

と」の時間に調べ学習を進めていきま
す!



「一人ひとりが大切にされる学校」とは(2)

また、悲しいことをお知らせします。一つは、人を悲しませる落書きがあったこと。もう

一つは、トイレやトイレスリッパの使い方のこと。特に、落書きは、された人の心を

傷つける、とてもとても悲しい出来事です。自分の

行動が、周りの人を悲しい思いにさせていないか

あったかい言葉でいっぱい! 水戸っ子アミーゴ委員会の取組



な?と振り返ることはとても大切です。

すでに、そんな状況を心配して、すぐ先生に報告しに来てくれる人、よごれたトイレを見つけたときに、自分たちで掃除をしてくれる人など、「なんとかしたい!」と行動してくれている人もいます。また、先日、学校の校庭にある木に登って、枝を折った人たちがいました。それを聞いた3年生のある人は、「木を大切にしてほしい」という思いを訴え、それにこたえてクラスでは呼び掛けるためのカレンダーを作って、全校に配る、という取組をしてきました。「自分にできることをしたい」と思い、実際に行動するその心に感動しました。みなさんも、周りで悲しい思いをしている人がいないか気づく目を持ち、「こんなことが起こっている」と知ったとき、「自分にできることは何だろう」と考えてみてほしいと思います。そして、一歩でも踏み出してみる。そうすれば、同じように心配している人と心をつなげることができ、「一人ひとりが大切にされる学校」に近づくことができると思います。



「やりたい!考えたい!深めたい!」授業に

水戸小学校では、今年度、「やりたい!考えたい!深めたい!」

授業づくりに力を入れています。先日、5年1組で研究授業をし、

先生たちみんな研修会をしました。5年1組のみんなは、難しい

図形の体積の求め方に一生懸命取り組んで、積極的に発表もしていました!これからもみんなが「やりたい!

考えたい!深めたい!」と思う授業づくりを続けていきます。タブレットなどの ICT機器もどんどん使う工夫をし

ていきます。みんなが、「勉強してわかるのが楽しい!」「今日も

新しい発見をした!」と思える授業にしていきたいと思います。

(校長)



みとしょう し じょうほうばこ
水戸小 HP「ちょっと知りたい情報箱」はこちら